

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

回覧後は確認印を押して次へ回してください。

第75号

雀部のふくし

令和元年6月 雀部地区福祉推進協議会

(題字 関 氏)

※※※※※※※※※※※※※※※※

ごあいさつ

※※※※※※※※※※※※※※※※

雀部地区福祉推進協議会 会長 井 上
(主任児童委員)

田植えも一段落し、蛙の鳴き声も夜ごと賑やかになってきました今日この頃、地域の皆様には、常日頃より当協議会の事業へのご協力とご支援を頂き、心より感謝申し上げます。

さて、この5月1日から年号が「令和」となりました。皇室での公式行事である「退位の礼」や「即位の礼」もリアルタイムで各局テレビ放映され、様々なイベントや出来事の冠に「令和最初の」という形容句が付けられるなど、厳粛な上にも今まで以上の華々しさや期待を感じずにはおれません。

「令和」が意味するとおりに、日本人一人ひとりが努力すれば それぞれ努力に見合った素晴らしい花を咲かせることができる日本、平和な世の中になればと願うばかりです。今私たちの雀部地区は、福知山市の中で昭和、惇明に次いで3番目に多い8,300人余り、3,860世帯の方々が生活されています。またそのほぼ4人に一人が高齢の方となっています。少子高齢化・人口減少が更に進み、一人暮らしの高齢者や外国籍の方が増えることなどにより、ますます地域社会は複雑・多様化し、社会的孤立や生活困窮等の生活・福祉課題が顕在化^{けんざいか}していくと聞きます。

当協議会としましても、高齢者を始めとした社会的弱者が孤立しないよう、引き続き居場所づくりなどを支援してまいります。相談や困りごと等ありましたら、遠慮なく支部の役員等にお声掛けをお願いします。地域の皆様には、引き続き当協議会へのご協力、ご支援を頂きますよう重ねてお願い申し上げます。

雀部地区福祉推進協議会 副会長 佐 藤
(土師新町南自治会長)

日増しに初夏の暑さを感じるようになって来ましたが、雀部地区住民の皆様には、ご健勝でお過ごしのこととお慶び申し上げます。

さて、私、この度令和元年度雀部地区福祉推進協議会の副会長の大役を務めさせて頂くことになりました。何分にも未熟であり不慣れなことも多く、ご迷惑をおかけするかと存じますが少子高齢化の現状を踏まえ協議会の活動方針に従い微力ではありますが皆様のお役に立てる様に努力していく所存でございます。雀部地区住民の皆様のご指導・ご協力を心からお願い申し上げ就任の挨拶とさせていただきます。

雀部地区福祉推進協議会 副会長 西 川
(土師宮町自治会長)

この度、2019年度の雀部地区福祉推進協議会の副会長を務めさせて頂くことになり責任の重さを痛感しています。

少子高齢化や地域での繋がりが低下するなど、地域生活での課題が多くあるなかで、雀部地区福祉推進協議会は、住民の福祉の向上と安全な環境のもとで安心して生活が出来ることを目的としています。

この目的が、少しでも前進するように微力ですが精一杯努力したいと思いますので、皆様方のご指導とご協力をよろしくお願いいたします。

〈平成31年度雀部地区概要〉

〈高齢者統計 (雀部地区) 高齢者65歳以上〉

(平成31年3月末)

自治会名	土師町	前 田	小松ヶ丘	東佳屋野	秋津ヶ丘	川 北	西佳屋野	南佳屋野	土師新町南	土師新町東	土師宮町	計
人 口	472人	1,451人	359人	773人	333人	375人	1,151人	346人	1,683人	657人	733人	8,334人
高齢者人口	124人	379人	81人	209人	77人	171人	279人	135人	297人	149人	155人	2,056人
高齢化率	26.27%	26.10%	22.56%	27.04%	23.12%	45.60%	24.24%	39.02%	17.65%	22.68%	21.15%	24.66%

〈児童生徒数〉(平成31年4月)

日新中学校 570人・内 雀部 250人・雀部小学校 490人

《お 知 ら せ》
第22回雀部地区ボランティアスクール開校

◇日 時：令和元年6月23日(日曜日)午前9時30分～11時30分

◇場 所：雀部小学校 西体育館

◇内 容：★パラリンピック種目 ボッチャ

★卓球バレー

上ばきを持参してください。お茶を用意しています。

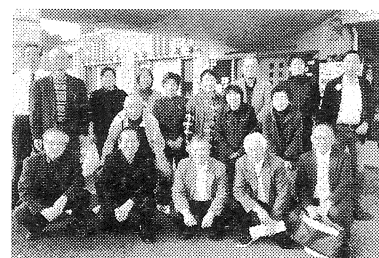
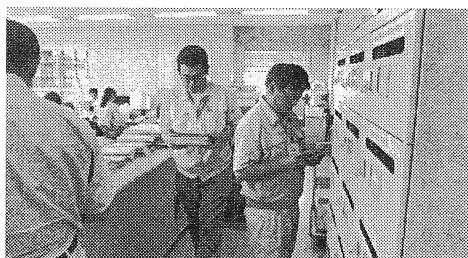
スマイル ささやま研修

西

昨年11月27日(火)参加者16名で国と兵庫県が建物を造り、業務を受託している社会福祉法人わかたけ福祉会が運営する障害者総合支援センター「スマイルささやま」他へ視察研修に行ってきました。大きな窓から射し込む光、広々とした空間、優しい笑顔の職員の見守りの中で施設利用者の皆さんは習字や絵を描き、折り紙を飾り付け、5・7・5の詩を詠み来館者に見てもらおうと黙々と作業をし、カラオケ・ハイキング・お花見・いろんな催しに参加して毎日を楽しんでおられます。

また、障害のある方が保護者の元を離れ、自立に向けた生活訓練を行っている「グループホーム太陽」には、ストレッチャーに乗ったまま入浴のできる設備もあります。軽作業では草刈り・パン工房・篠山産高の学食・丹波篠山市役所で郵便物仕分け等収入を得ながら仕事もこなします。しかし、職場ではひとりぼっちになりがちです。定期的に交流会を開き、沈みそうな心に元気を取り戻す支援もあります。子供発達支援センターでは、ことばの教室・保育・ブランコやトランポリンを使った作業療法教室などにより人とうまく付き合っていくための技能を学びます。

昔は「うつるから近づくな」と我が子に言っていた親がいました。遠くから見るとではなく、障害のある人と交流して直に接する事で障害を持った人の気持ちも少しは理解できるようになってきたと思います。『こんにちは、お手伝いしましょうか?』の言葉が普通に掛けられる仲間が増えることを願っています。



令和元年度活動内容

活動内容

1 広報活動の実施

- ・広報誌「雀部のふくし」の発行
年3回(5月・9月・1月)の発行
- ・青少年健全育成の広報活動および支援
雀部っ子地域安全見守り隊への支援

2 支部活動(各自治会)における活動支援

- ・ふれあいサロン活動
- ・高齢者と小学3年生との交流
- ・高齢者とふれあい給食
- ・福祉健康講座の実施

3 ボランティア活動

- ・ボランティアスクールの開校

4 視察研修

- ・障がい者福祉就労支援施設 等

5 福祉力の向上

- ・福知山市社会福祉協議会主催の研修参加
- ・日新地域包括センターとの情報交換
- ・他地区福祉推進協議会との交流研修

第3次地域福祉活動計画について

社会福祉法人
福知山市社会福祉協議会

【第3次地域福祉活動計画の目的】

近年、人口減少の大きな要因である少子・高齢化の進行や働き方などの生活様式の変化に伴って、地域社会や家庭を取り巻く環境は大きく変化しています。また、経済情勢や雇用環境の厳しさ、孤独死やひきこもりなどの社会的孤立、認知症や障害があることで、判断能力が不十分になってしまった方の日常的な金銭管理等を擁護する権利擁護の問題など、地域における生活課題も多様な形で深刻化し広がっています。

このような課題に対し、法改正や新たな仕組みの構築など公的な制度やサービスの考え方が示される一方で、地域住民や民間の力による支え合い、助け合いなどの地域福祉活動の必要性が高まっています。

第3次地域福祉活動計画の策定に向けては、そのような地域のニーズや社会情勢の変化をふまえながら、地域活動を行われている団体や地域住民の方々へヒアリングを行い、地域課題の把握をしました。ヒアリングの結果を受けて、地域の方々の声をもとにそれぞれの地域課題をまとめ、基本理念である「みんなでつくる共に幸せを生きるまちふくちやま」の実現に向けて、地域住民一人ひとりが主体となって、様々な社会福祉の担い手や地域団体などとの協働により地域福祉推進を目指すための計画となっています。

【第3次地域福祉活動計画の特色】

社会福祉協議会では、平成23年度より関係組織や福祉関係団体、行政と連携して「地域福祉活動計画」を策定し、住民同士の支え合いによる地域福祉推進を行ってきました。

第1次地域福祉活動計画では、小地域福祉活動を展開する地区福祉推進協議会の支援を重点的な取り組みとして策定しました。

第2次地域福祉活動計画では、社協の事業を中心に地域福祉推進を図るよう策定しました。

今回の第3次地域福祉活動計画では、近年の社会情勢の変化や第2次地域福祉活動計画の評価、関係団体へのヒアリングなどをふまえ、行政の地域福祉計画との連携を図りながら、「住民主体の福祉のまちづくり」を様々な社会福祉の担い手や地域団体などとの協働により、推進していく点を特色としています。

【第3次地域福祉活動計画の基本目標と方向性】

基本目標

方向性

一人ひとりが地域福祉の
担い手となるように
～寄り添い、支え愛あふれる
こころづくり～

①「お互いさま」のこころを育みましょう

困ったときはお互いさまの気持ちで、誰もが助けたり助けられたりできる「お互いさま」の心が大切です。

②ひとりぼっちのない地域づくりを考えましょう

「生きる」とは誰かとつながること。豊かなつながりが豊かな暮らしをつくれます。ひとりぼっちのない地域づくりを考えましょう。

③地域の「力合わせ」を大切にしましょう

「地域をよくしたい」という思いを持っている方々の、一人ひとりの思いや力を地域全体で合わせる事が大切です。

④地域の防災力を高めましょう

災害が起こったときに大切になることは、ご近所での助け合いです。日頃の暮らしの関係づくりが、地域の防災力を高めることにつながります。

⑤たくさんの人とふれあう場をつくりましょう

たくさんの人と出会い、ふれあいを通じて同じ時間を共有することで、相手を知ることにつながります。多様性を認め合うことが大切です。

地域で課題解決に
取り組めるように
～参加と協働による
福祉のまちづくり～

⑥安心して暮らしていける地域づくりを考えましょう

地域住民同士だけでなく、専門職も日頃から地域住民の方々と顔の見える関係をつくっておくことが大切です。

⑦何でも気軽に相談できる体制をつくりましょう

身近な地域での相談から、専門的な相談へとつながれる総合的な相談体制が必要です。

⑧必要な情報を必要な人に届けましょう

本当に必要としている方に、必要な情報を届けるため、様々な手段で情報発信をしていくことが大切です。

住み慣れた地域で
生活し続けるために
～尊厳の尊重と自立支援の
しくみづくり～

上記の基本目標や方向性に沿って、地域福祉活動の推進を目指します。